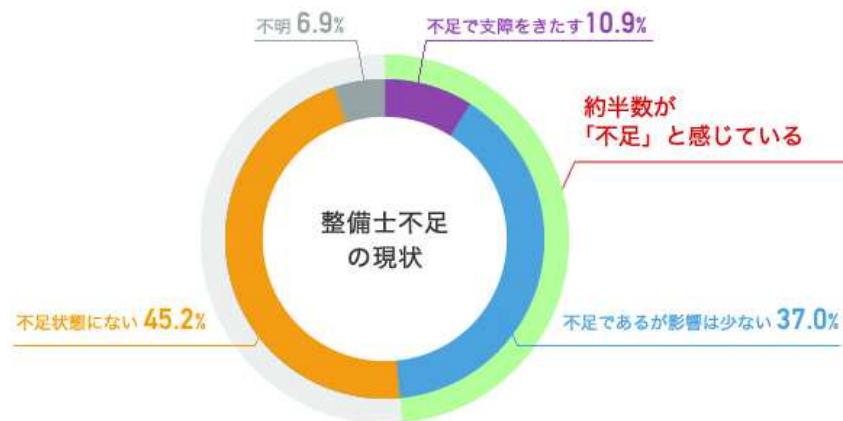


ベトナム人 自動車整備実習生についての ご提案

Across協同組合
岡山県岡山市南区中畦443-7

整備業界の現状

- 日整連の資料によると、日本の整備士数は34万人です。
- 自動車分解整備業社数は92,000事業所です、単純に1事業所当たりの整備士数は4名です。
- 今いる整備士の高齢化、新規受験者数の減少により、年々自動車整備士の数は減少傾向なのはご存知の通りかと思えます
- 平成29年度の日整連資料によると整備業界の売上は前年対比で3%増となっており、人手不足感はより増加しています



日整連 自動車整備士白書 平成26年度版

整備士不足の理由

- ☹️ 整備業界は、従業員10人以下の企業が約70%を占めているので、予算をかけた大規模な採用活動が難しい
- ☹️ そもそも自動車整備士の資格取得を目指す若者が10年間で半減してしまっている。(若者のクルマ離れなど)

技能実習制度とは

- もともとは、1960年代後半ごろから海外の現地法人の社員教育として行われていた研修が始まりです。1993年、この研修制度が正式に制度化されました。
- 技能実習制度の目的は、日本で培われた技能・技術や知識を開発途上地域などに伝えることで、人材育成面での国際貢献をすることです。
- 外国人の実習生が、日本企業と雇用関係を結ぶことで、出身では修得が困難な技能を習得することができます。期間は最長5年、技能実習計画に基づいて行われます。
- 外国人実習生の受け入れは、外国人にとってだけではなく、企業にもメリットがあります。



実習生活用のメリット・デメリット

- メリット

- 1、単純に人手不足解消
- 2、採用に関する経費の縮小
- 3、最低3年は在籍するので、事業計画等が立てやすくなり、実行も容易になります
- 4、社内全体の雰囲気改善が可能

- デメリット

- 1、導入当初はコミュニケーションが困難
- 2、社内・社外に対し日本人以上に目配り気配りは必要
- 3、雇用関連のコンプライアンスは今より厳しいモノになります
- 4、その他、実習生制度上の書類等事務処理の増加

なぜベトナム人が人気なのか？

- 勤勉な国民性が日本人に近い
- 上昇志向・目的意識がハッキリしている
- 忍耐力は現在の日本人が忘れたモノを持っている
- 親日国である



上記の点で、日本人従業員とトラブルになり難いと弊社は実感しています

実習生採用までのフロー

- STEP 1 当組合へのご加入と求人票作成
↓
STEP 2 ベトナム現地での面接
↓
STEP 3 ベトナム実習生との雇用契約締結
↓
STEP 4 ベトナムでの日本語研修と国内研修
↓
STEP 5 面接後 5～6か月で配属





アクロス協同組合

岡山市南区中畦443-7

TEL：086-250-8844

E-mail:across@ts-group.co.jp

ご希望がありましたら、詳細な資料を
送付いたします。

お気軽にお問い合わせください。